

# 報道発表

令和6年 5月15日  
県土マネジメント部 河川整備課  
担当 近藤課長補佐、川端係長  
TEL:0742-27-7504 (内線 4173)

## 奈良県災害リスク情報システムの運用を開始します

(旧: 土砂災害・防災情報システム)

～洪水浸水想定区域図が見やすくなります～

洪水浸水想定区域図は、これまで県河川整備課のホームページで河川ごとに PDF で公表していましたが、「災害リスク情報システム」(旧 土砂災害・防災情報システム) で閲覧できるようになります。

今回のシステム改良により、地図上の任意の地点をクリックすると、どの河川から浸水のリスクがあるのか、河川毎にその詳細な浸水深を確認できるようになります。

また、土砂災害警戒区域等と洪水浸水想定区域図を同時に確認することもできます。

本システムや市町村が公表するハザードマップなどを用いて自然災害のリスクを把握し、自分工事化することで、早め早めの避難に努めていただくようにお願いします。

奈良県災害リスク情報システムの主な機能

- ・大雨に関する気象情報
- ・雨量現況図
- ・土砂災害危険度情報
- ・土砂災害特別警戒区域等マップの表示、公示図書の閲覧
- ・砂防関連法指定地指定状況
- ・**洪水浸水想定区域図(想定最大規模)の表示等 (今回追加)**

### 【公表イメージ】



奈良県災害リスク情報システム：<https://www1.nara-saboinfo.jp/doshamap/index.html>

新しくなった「災害リスク情報システム」では、このようなことが確認できるようになります。

- Q. どの川からの洪水リスクがあるのか
- Q. 自宅周辺の浸水深が 0.5～3.0m になっているのを見たけど、もう少し詳しく知りたい。
- Q. 自宅の近くに山も川もあるけど、どのような災害リスクがあるのか? など

**参考** 洪水浸水想定区域とは大雨による水害の危険性を周知し、事前の備えや避難に役立てるため、想定しうる最大規模の降雨により河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域のことで、水防法第14条に基づき国や都道府県が作成し、公表しています。

# 自然災害に備える

～ 奈良県災害リスク情報システムの運用を開始します ～

令和5年5月15日（水）

自然災害はいつ起きるかわかりません。

自然災害のリスクを自分事化し、災害に備えることが重要です。

- 昭和57年8月の大和川大水害では、田原本町法貴寺で大和川が破堤し、洪水が「まち」をのみ込みました



- 令和5年6月出水では、大和川からJR大和路線内に溢水し、JRが運休しました



洪水浸水想定  
区域図が見や  
すくなります

災害のリスクに備えるため、

# 奈良県災害リスク情報システムの運用を開始します

(旧 土砂災害・防災情報システム)

## 奈良県災害リスク情報システム

大雨に関する警報等の  
発令状況を確認できます

### 大雨に関する気象情報



お住まいの地域に土砂災害警戒情報が発表されたら、早めに安全な場所へ避難しましょう。こちらで大雨に関する気象情報をメールで受信することができます。

雨の状況や今後の雨量予測を  
確認できます

### 雨量現況図



雨が降り始めたら現在の状況及び今後の予測を確認しましょう。

土砂災害の危険度を  
リアルタイムで確認できます

### 土砂災害危険度情報



雨によって土砂災害の危険度が高まると大雨警報や土砂災害警戒情報が発表されます。

洪水浸水想定区域図の  
閲覧機能を新たに追加

### 洪水浸水想定区域図



水害による被害軽減を図るため、河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を指定しています。身の周りの浸水リスクを確認できます（土砂災害警戒区域も確認できます）。

### 土砂災害警戒区域等マップ



県内の土砂災害警戒区域等が確認できます。※令和5年10月時点。最新の指定状況はこちら  
日頃から身の周りの土砂災害警戒区域等を確認しましょう。

砂防指定地等の  
指定状況を確認できます

### 砂防関連法指定地指定状況



奈良県内の砂防指定地、地すべり防止区域、急傾斜地崩壊危険区域の位置が確認できます。※詳細は県土木事務所（又は砂防・災害対策課）にお問い合わせください。

### ◆土砂災害の情報をご提供ください

あなたのお住まいの近くで土砂災害に関する情報や予兆現象などが発生した場合、速やかに県土災害対策課へご連絡ください。お問い合わせ先は、奈良県 県土マネジメント部 砂防・災害対策課 TEL：0742-21-1111（受付時間：午前9時～午後5時）です。また、避難情報ガイドラインの改定（令和3年5月）に伴い、土砂災害危険度の凡例の変更および「奈良県災害リスク情報システムの使い方」の更新を行いました。

土砂災害警戒区域等を確認  
できます

青：従来からある機能  
(旧 土砂災害・防災情報システム)

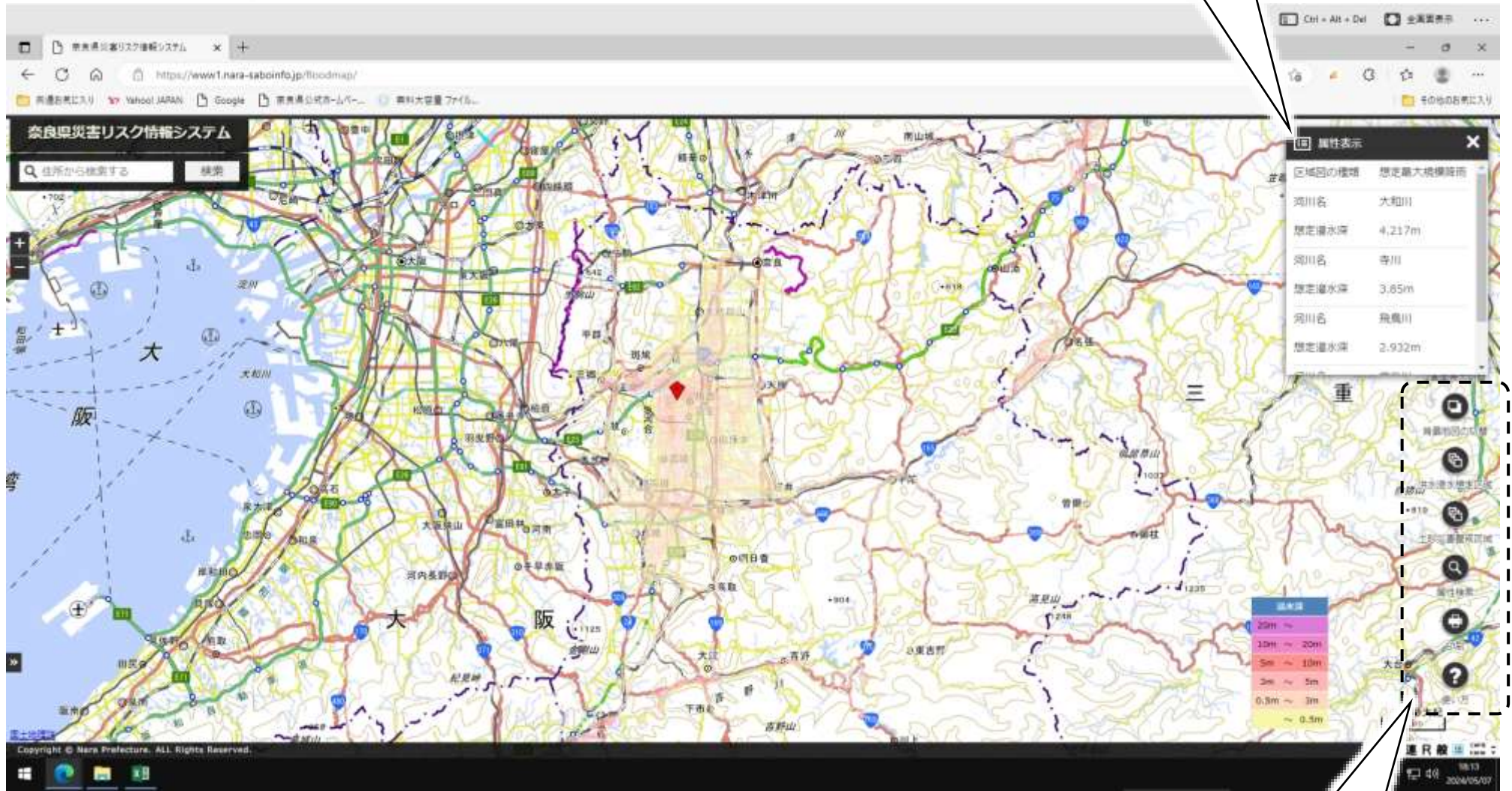
赤：今回追加した機能

## 【洪水浸水想定区域図とは】

- 国や都道府県は、大雨による水害の危険性を周知し、事前の備えや避難に役立てるため、想定し得る最大規模の降雨により河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域（洪水浸水想定区域図）を作成し公表（水防法第14条）
- 県では、令和5年5月に中小285河川の洪水浸水想定区域図を公表し、対象となる全309河川の区域図を公表(PDF)

# 奈良県災害リスク情報システム

地図を拡大・縮小し、任意の地点をクリックすると  
その地点における洪水浸水想定区域（河川名、浸水深）を確認することができます



地図の種類切替や土砂災害警戒区域等の表示選択ができます  
※背景地図は「地理院地図」や「グーグルマップ」を選択可能

～より詳しく、より分かりやすく知ってもらうために～

## これまでに公表されている「洪水浸水想定区域図」の課題と改良ポイント

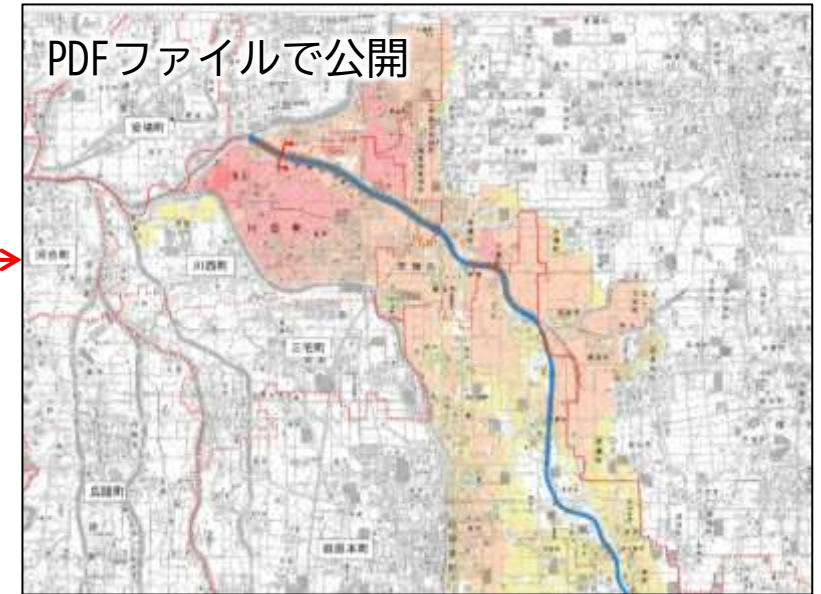
### これまでの課題

- どれくらい浸水するのか、細かな浸水深まで分からない
- どの河川からの洪水リスクがあるのか分からない（調べるのが大変） など

#### これまでの公開状況（奈良県HP）

洪水浸水想定区域一覧			
告示日及び公表日：令和5年5月30日 告示番号第66号			
1	大和川水系 136河川	41 奥の深川川 1 2 3	81 新川里水路 121 奥野川
2	2 奥野川 1 2 3	42 田嶋川 1 2	82 万んでん川 122 奥野川
3	3 奥野川 1 2 3	43 奥野川 1 2	83 奥野川 123 奥野川
4	4 奥野川 1 2 3	44 奥野川 1 2	84 奥野川 124 奥野川
5	5 奥野川 1 2 3	45 奥野川 1 2	85 奥野川 125 奥野川
6	6 奥野川 1 2 3	46 奥野川 1 2	86 奥野川 126 奥野川
7	7 奥野川 1 2 3	47 奥野川 1 2	87 奥野川 127 奥野川
8	8 奥野川 1 2 3	48 奥野川 1 2	88 奥野川 128 奥野川

#### PDFファイルで公開



**全国初**

今回、追加した「洪水浸水想定区域」表示機能の3つの特徴

この3つの機能を備えたシステムは奈良県だけ！※

- 特徴① 細かな浸水深まで確認できる
- 特徴② どの河川からの浸水リスクがあるのか確認できる
- 特徴③ 土砂災害警戒区域等と洪水浸水想定区域を同時に表示できる

～どれくらい浸水するのか～

## 特徴① 細かな浸水深まで確認できる

一般に公開される洪水浸水想定区域図では・・・

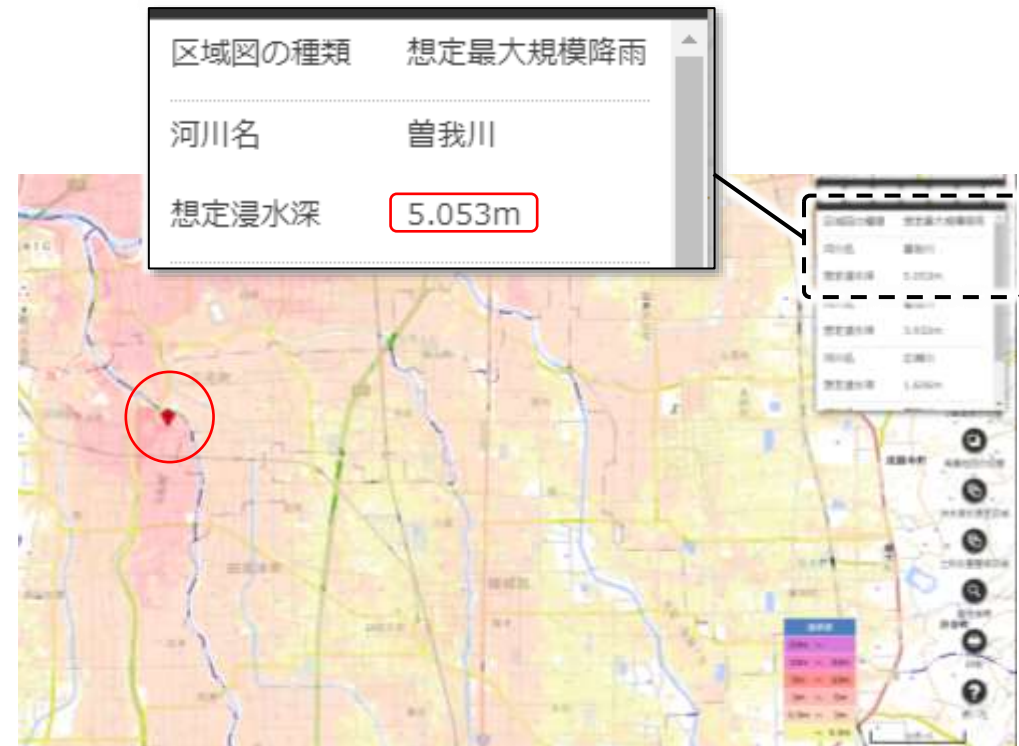
「洪水浸水想定区域図」や洪水浸水想定区域図をもとに市町村が作成する「ハザードマップ」の浸水深は、「水害ハザードマップ作成の手引き」に基づき、浸水深に幅を持たせて公表されています



- 浸水深等の閾値は、
  - ・一般的な家屋の2階が水没する5m、
  - ・2階床下に相当する3m、
  - ・1階床高に相当する0.5m
  - ・これを上回る浸水深・津波基準水位を表現するため、10m、20mが用いられる。
- 配色については、ISO等の基準や色覚障がいのある人への配慮、他の防災情報の危険度表示との整合性も含めて検討し、配色が決められている

奈良県災害リスク情報システムでは・・・

地図上の任意の地点をクリックすると、シミュレーションに基づく詳細な浸水深が表示されます



～家の近くの川だけが危険なのか～

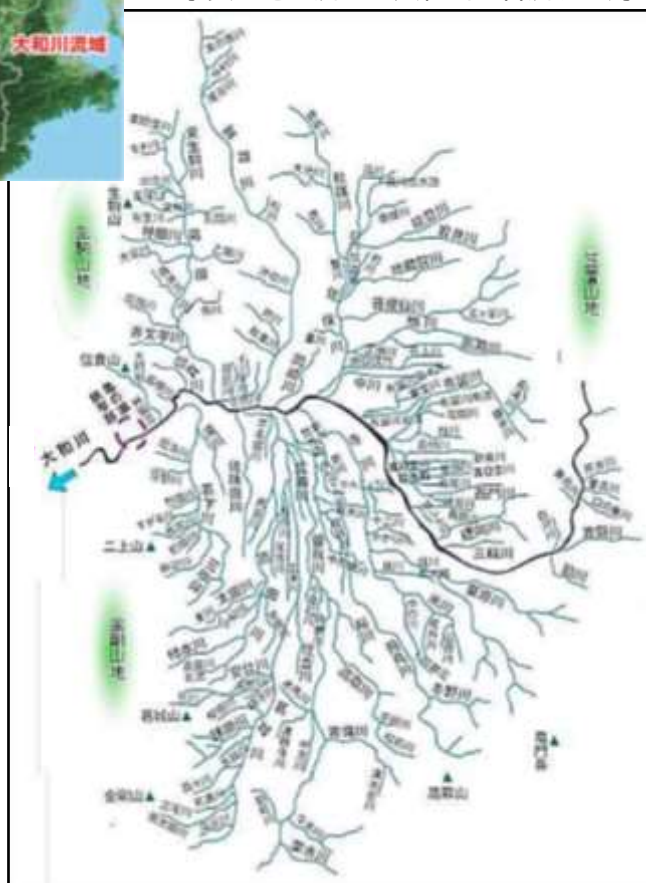
## 特徴② どの河川からの浸水リスクがあるのか確認できる

大和川流域では、大小158の河川が網の目のように流れています。

万が一、堤防が破堤した場合には、遠く離れた川から洪水が押し寄せてくるかもしれません。



奈良盆地を流れ、大和川へ合流する河川

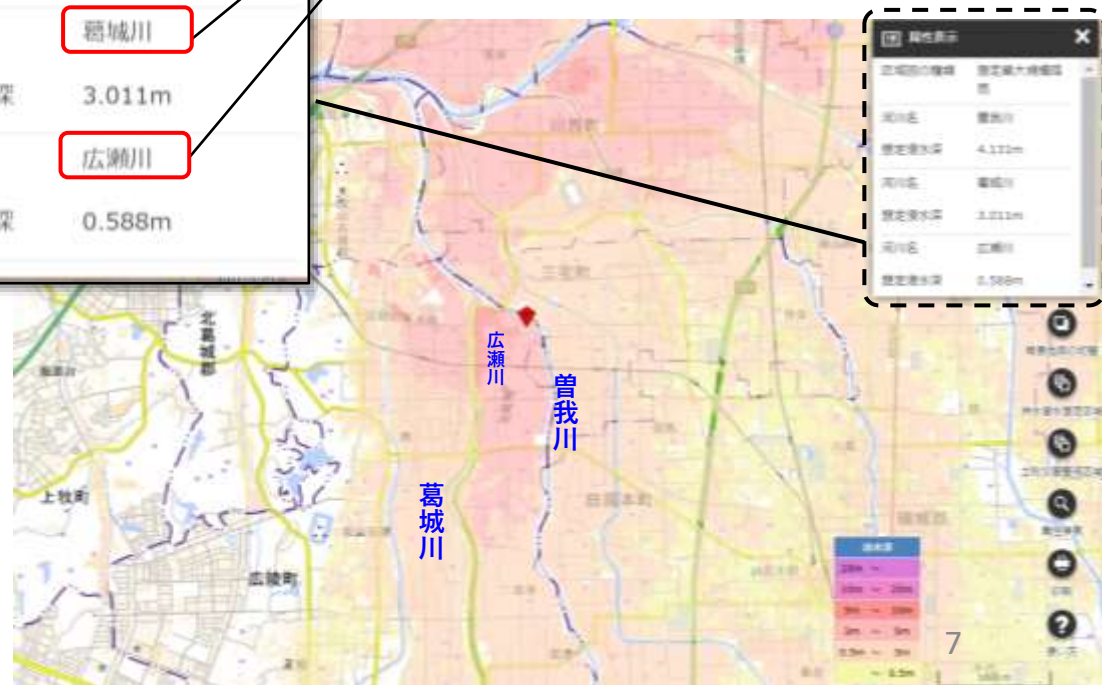


資料提供：大和川河川事務所

奈良県災害リスク情報システムでは・・・

属性表示	
区域図の種類	想定最大規模降雨
河川名	曾我川
想定浸水深	4.131m
河川名	葛城川
想定浸水深	3.011m
河川名	広瀬川
想定浸水深	0.588m

任意の地点をクリックすると、どの河川からの浸水リスクがあるのかを確認できます。地図上では、最大の浸水深が着色されています。



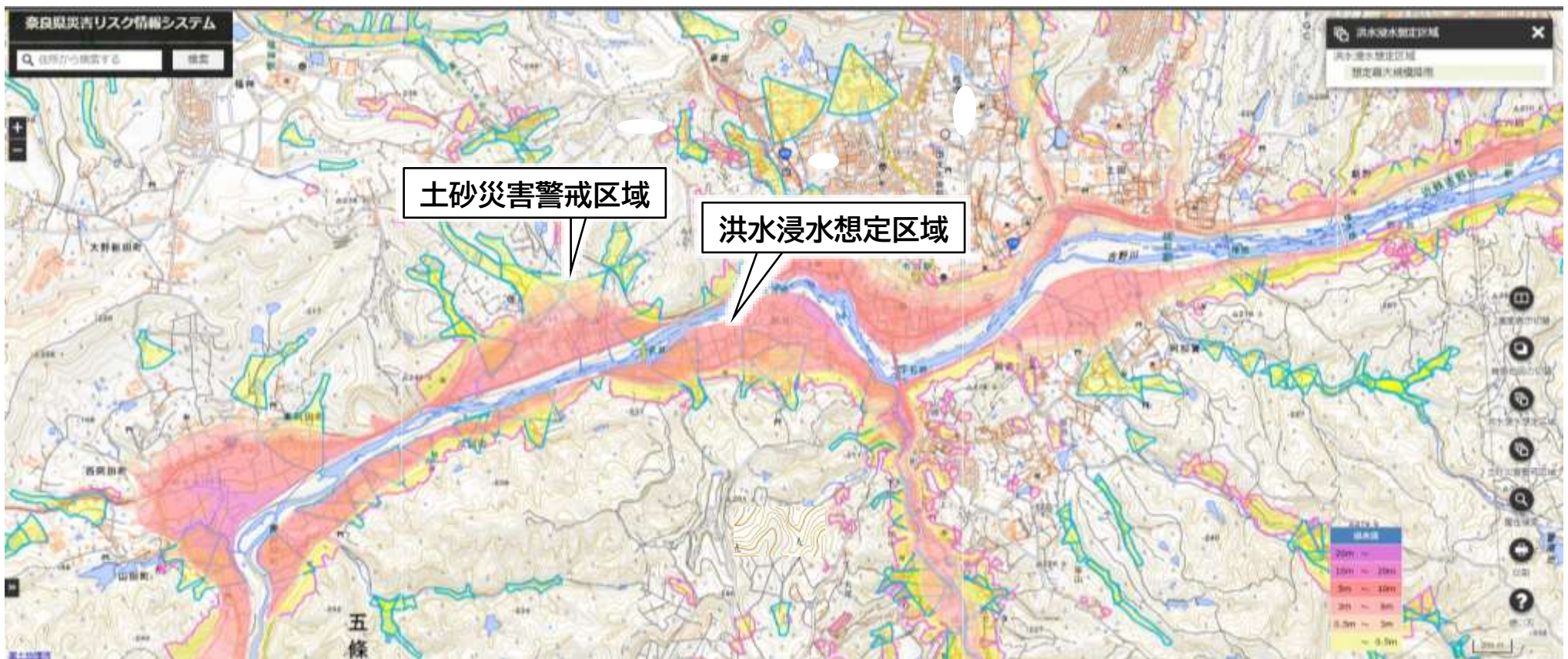


～どのような自然災害のリスクがあるのか～

## 特徴③ 土砂災害警戒区域等と洪水浸水想定区域を同時に表示できる

奈良県災害リスク情報システムでは・・・

『土砂災害警戒区域等』と『洪水浸水想定区域』を同時に確認することができます



# 自然災害のリスクを自分事化

家の近くに山や川がないから安心！ ではありません

まずは、奈良県災害リスク情報システムや市町村が公開するハザードマップなどにより**自然災害のリスクを把握**することが重要です

**自然災害のリスクを「自分事化」し、早め早めの避難の心がけをお願いします**